



2013年3月期第2四半期決算説明会

井川社有林・赤石岳(千枚岳から)



特種東海製紙株式会社





2013年3月期第2四半期決算概要



連結損益計算書

(単位:百万円)

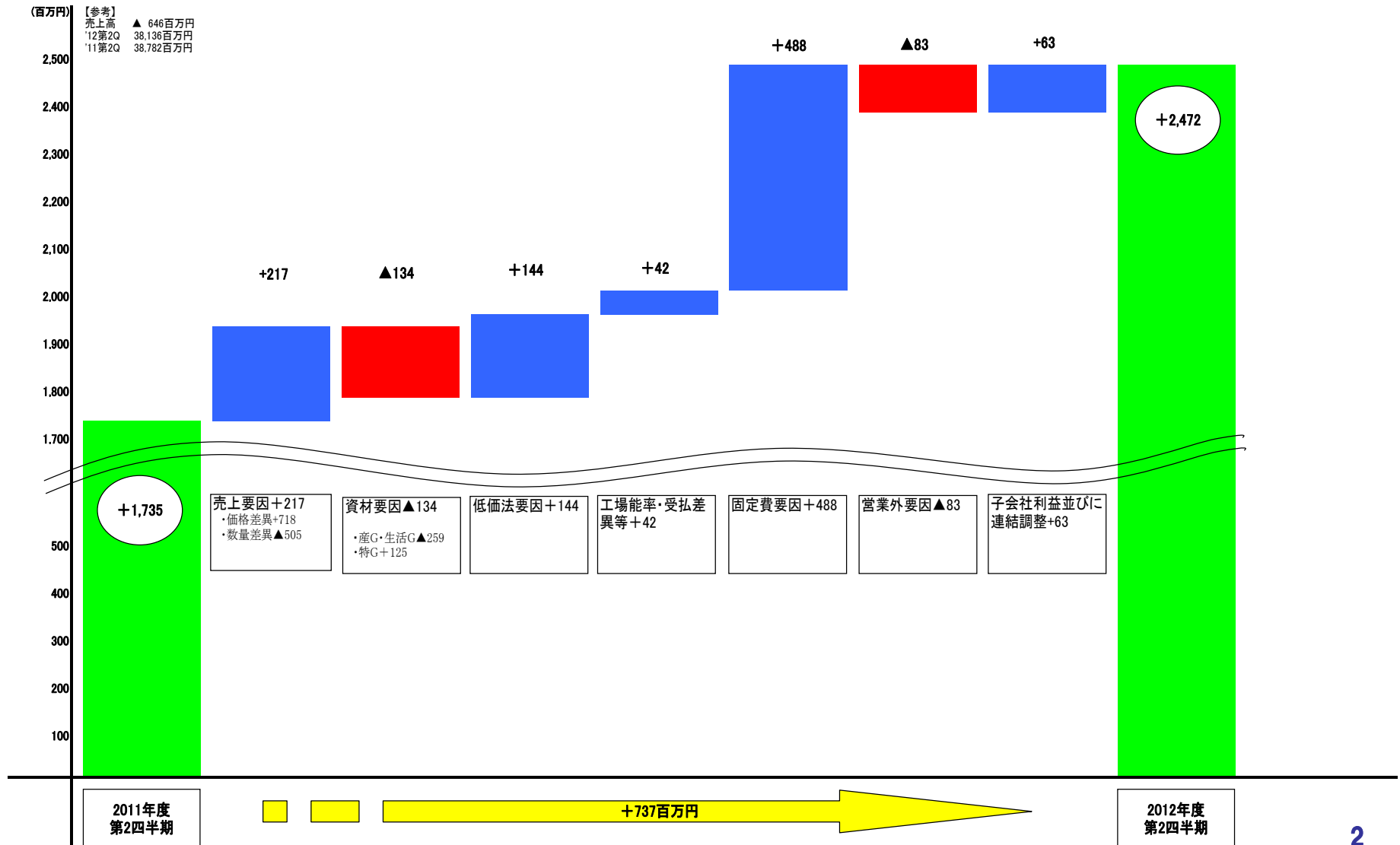
	2012年9月期		前年同期比		2011年9月期
	金額	対売上高比率	金額	増減率	金額
売上高	38,136	100.0%	▲646	▲1.7%	38,782
営業利益	2,501	6.6%	772	44.6%	1,729
経常利益	2,472	6.5%	737	42.4%	1,735
当期純利益	457	1.2%	▲41	▲8.2%	498

経常利益の増加理由

需要低迷に伴う販売数量の減少により売上高は減少したが、段ボール原紙・クラフト紙の価格修正及び購入パルプ価格の下落・減価償却費の減少などの原価面でのコスト改善が功奏したため増益となった。

経常利益の増減要因

第2四半期 特種東海製紙(株)グループ経常利益 増減要因(主要因)



セグメント情報

(単位:百万円)

		2012年9月期	前年同期比	2011年9月期
		金額	金額	金額
売上高	産業素材事業	20,346	▲1,070	21,416
	特殊素材事業	10,296	▲575	10,871
	生活商品事業	7,661	499	7,162
	その他	4,752	653	4,099
	消去	▲4,920	▲153	▲4,767
	合計	38,136	▲646	38,782
営業利益	産業素材事業	1,145	614	531
	特殊素材事業	1,050	56	994
	生活商品事業	266	28	238
	その他	123	127	▲4
	消去	▲85	▲55	▲30
	合計	2,501	772	1,729



2013年3月期通期業績予想



下半期の施策

当社を取り巻く経営環境

- 景気低迷に伴う内需不振
- 紙パ業界内での競争の激化
- 輸入紙の急増



それに対応する下半期の施策

- ゼオライト不織布等、新商品の市場投入
- 品質の更なる向上によるクレーム数の減少、機会損失の防止
- 個社別ニーズを吸い上げトップセールス等を行うことによる大口需要家への関係強化
- 他部門と連携したクラフト紙の相互営業の強化

通期業績予想

(単位:百万円)

	2013年3月期予想		前期比		2012年3月期
	金額	対売上高比率	金額	増減率	金額
売上高	78,000	100.0%	326	0.4%	77,674
営業利益	4,200	5.4%	929	28.4%	3,271
経常利益	4,000	5.1%	12	0.3%	3,988
当期純利益	2,200	2.8%	2,162	—	38

前提条件

※5月14日公表業績予想から変わらず

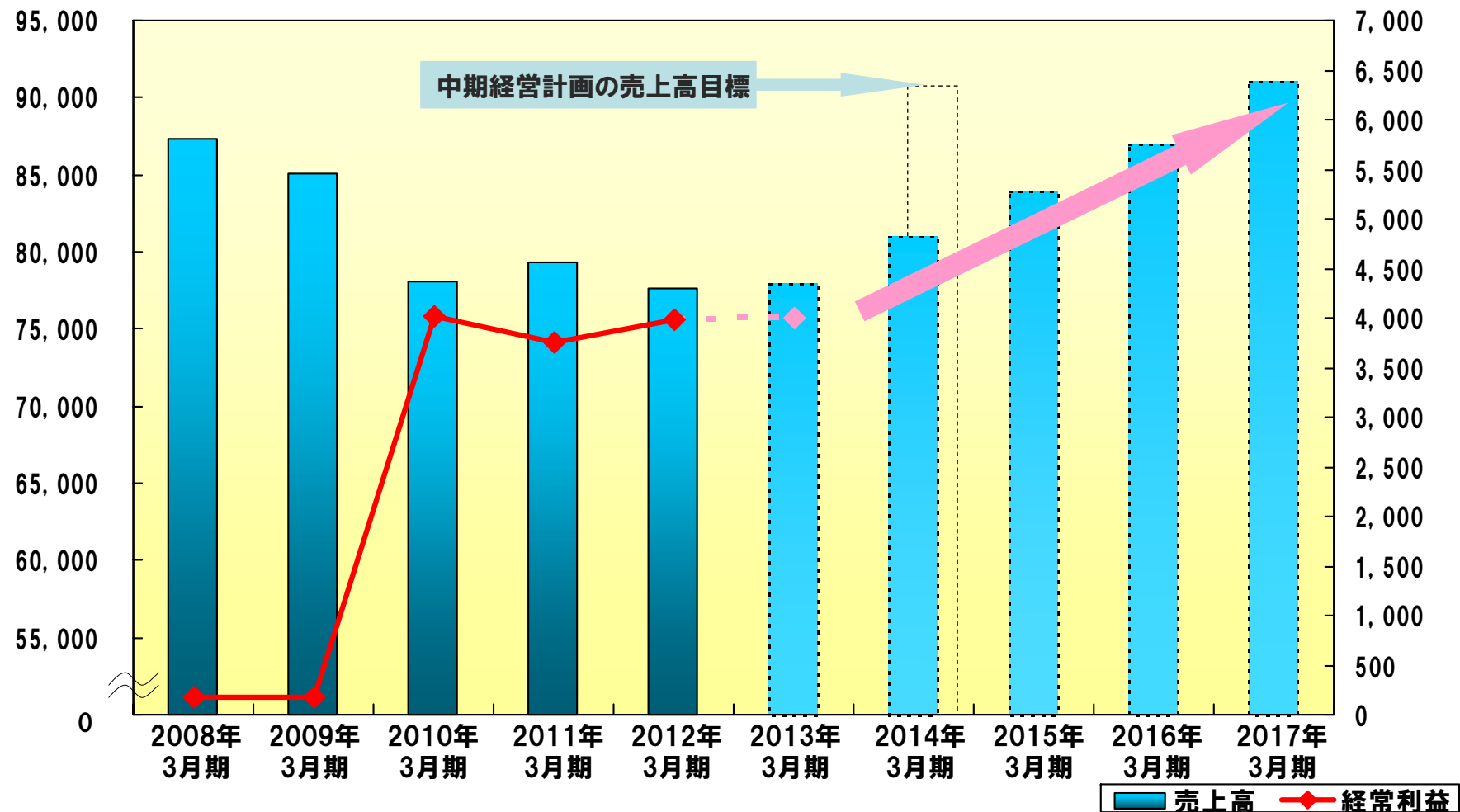
為替レート:80円/\$

原油価格:110\$~115\$/バレル(ドバイ)を基準として

連結売上高、経常利益の推移

左軸: 売上高
(百万円)

右軸: 経常利益
(百万円)





成長戦略の進捗状況について



当社グループの躍進に向けて(前へ！)

中期経営計画(2011年度～2013年度)

売上高900億円以上 経常利益45億円以上

経常利益45億円は達成可能となりつつあるも、売上高900億円を達成する為には新しい施策が必要

- ①新商品の開発
- ②海外展開
- ③未来指向プロジェクト
- ④基盤強化の設備投資

新中期経営計画(2014年度～2016年度)

売上高900億円以上を達成し ⇒利益拡大



新 商 品 の 開 発



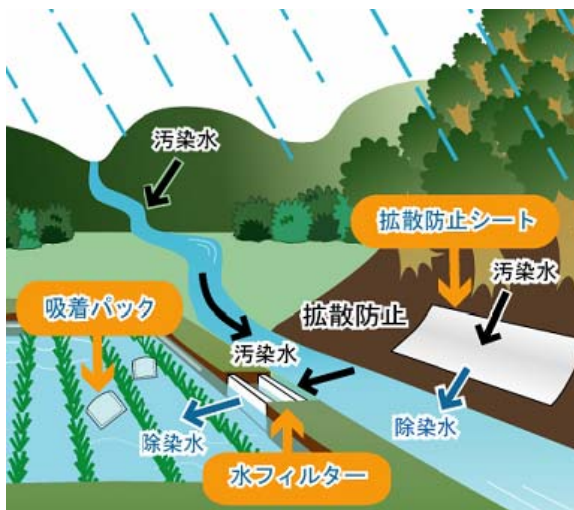
ゼオライト不織布の用途展開

目的

当社の所持する不織布技術や貼合技術を結集し、用途開発を含めた実用化へ向けた取組みを推進

商品名：TT-除染シートSC

用途



拡散防止シート

用途に応じて不織布の選定が可能

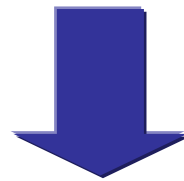


水処理フィルター

ゼオライト不織布の販売開始

進捗状況

- 地方自治体、企業体、ゼネコン、水処理企業等に対しプレゼンテーション、実証実験の実施
- その結果、一定の条件下において放射性セシウム除去率95%以上を達成
- 8月以降、販売を開始している
- 現在当社で保有する設備のみで予定年間販売量を生産することが可能



2014年度売上高10億
円を見込む

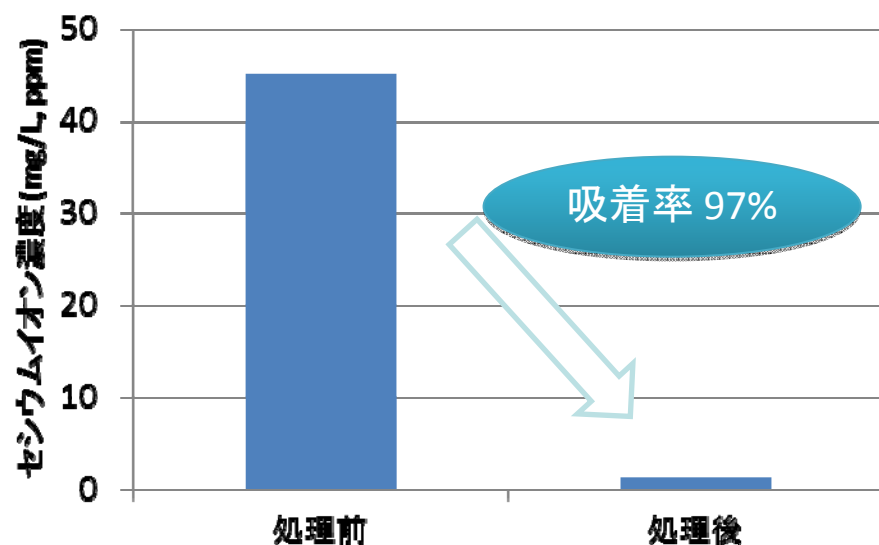


TT除染シートSC 吸着性能評価



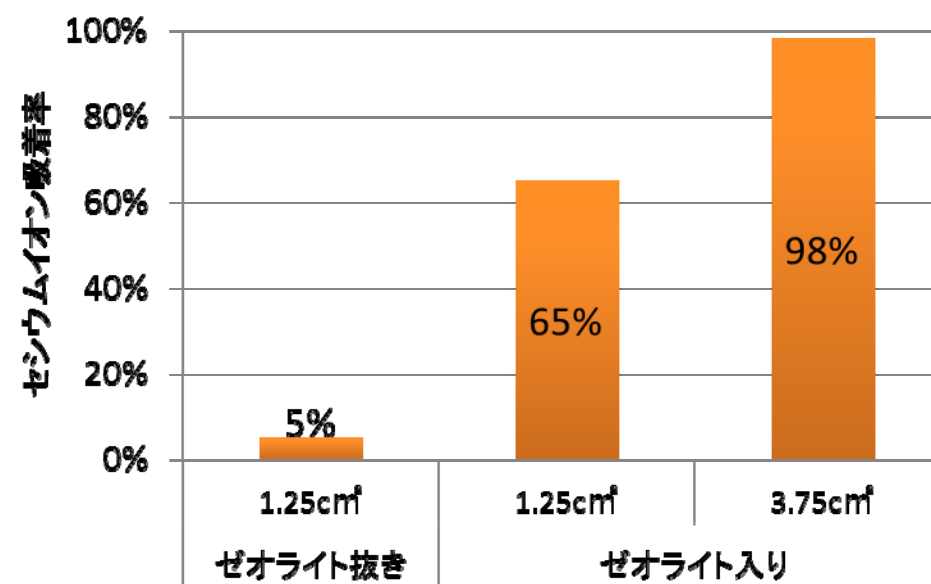
特種東海製紙株式会社

振とう攪拌処理試験



45ppm塩化セシウム水溶液, 50ml (放射性セシウムの場合 7.2GBq相当) にTT除染シートSC1-Aを10cm²を投入し、1時間浸透攪拌処理

ろ過処理試験

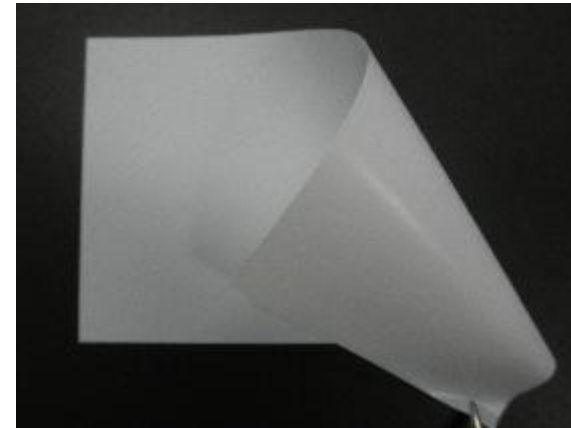


100ppm塩化セシウム水溶液, 30ml (放射性セシウムの場合 9.6GBq相当) を、各シート面積のTT除染シートで自然濾過処理

リチウムイオン二次電池用セパレータ テストマシンについて

テストマシンの概要

- 投資額: 約10億円
- 生産能力: 約300万m²/年
- 来年10月頃の完成を目指す
- 島田工場に設置
- 量産に踏み切れるか実証するためのテスト機
- 先端技術実証、評価設備整備費等補助金を申請

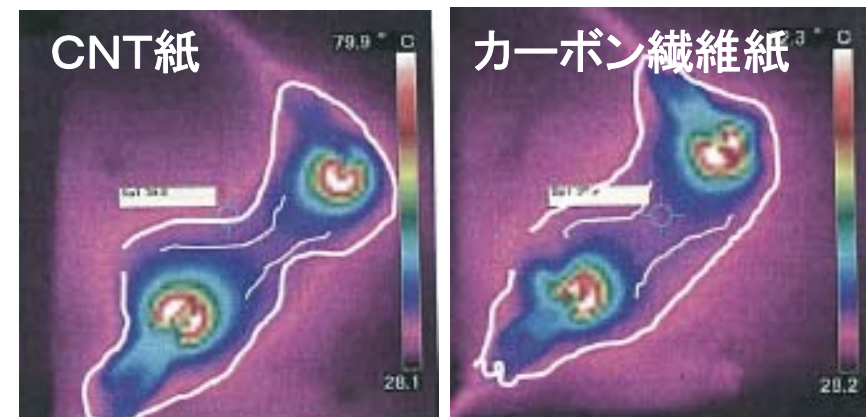
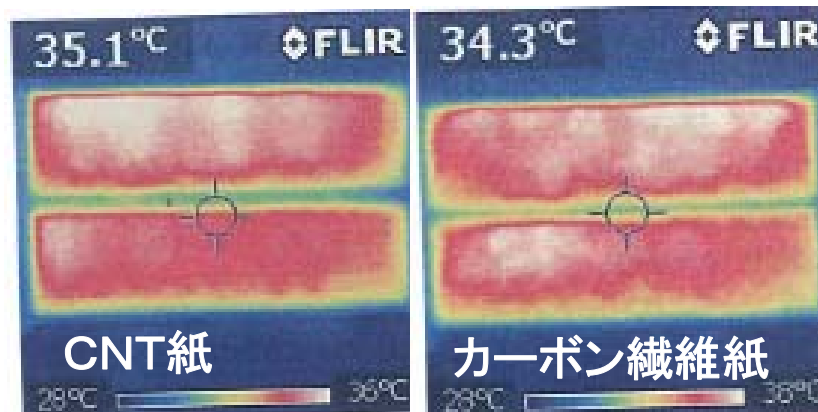


売上高10億円を目標とする

CNTペーパーの販売開始

内容

- 2013年3月より面状発熱体として平判の形で販売を開始
- 特殊なカーボン繊維を混抄することで同様の用途で展開可能
(発熱の均一性は劣るが、低価格で生産可能)



技術融合型ファンシーペーパーの開発

内容



新たな市場、文化の創造(コンシューマー、包装、簡易バッグ、建装材、食品等)
従来のファンシー市場(出版、商業印刷、パッケージ、紙製品)
従来のライナー、クラフト、ペーパータオル市場



海外展開



海外事業について

特種東海製紙

技術提供

中日特種紙

多品種小ロット

薄物高付加価値機能紙

例)ティーバッグ紙

RO膜支持体 等

正隆社

少品種大ロット

廉価な機能紙

例)NF耐油紙

滅菌紙 等

中国、東アジア市場へ販売

海外事業について

中日特種紙

N1マシンの竣工



マシン概要: 抄巾 1,700mm
抄速 300m/分 坪量 7g/m²~

N1マシンにて当社の技術を活用し
た薄物機能紙の生産を行う

正隆社

NF耐油紙の試験生産開始



※9月に后里工場を訪問したもの



未来指向プロジェクトについて

1. 島田工場エネルギー対策投資
2. 放射性物質除染シート
3. グランドシニア(高齢者)向けビジネス推進
4. 環境関連事業推進
5. グループ会社再構築



エネルギーコストの削減

新規バイオマスボイラー・新規タービンの導入を検討

目的

- 島田工場の購入電力ゼロを目指しエネルギーコストの削減を図る

内容

- ボイラー燃料: 木屑(含む生木)、RPF、タイヤチップ
- 発電量: 最大30,000kwh、蒸発量: 最大130トン/h
- 投資金額: 104億円(含む、土建・基礎工事、タービン建屋)
- スケジュール: 2015年10月運転開始に向けて検討

利益改善効果 2.5億円/年

保有設備を活用した売電の実施

水力発電による電力の販売を検討

目的

- 固定価格買い取り制度(FIT)、もしくはPPS事業者を利用して電力の販売を行う

内容

- 弊社保有の赤松発電所(水力発電所)により売電を行う
- FITを利用する場合は電気設備の更新工事を行う

進捗状況

- 発電所のコンクリート構造物の寿命診断を実施予定
- 並行してPPS事業者との協議を行っている

売上高10億円/年を見込む



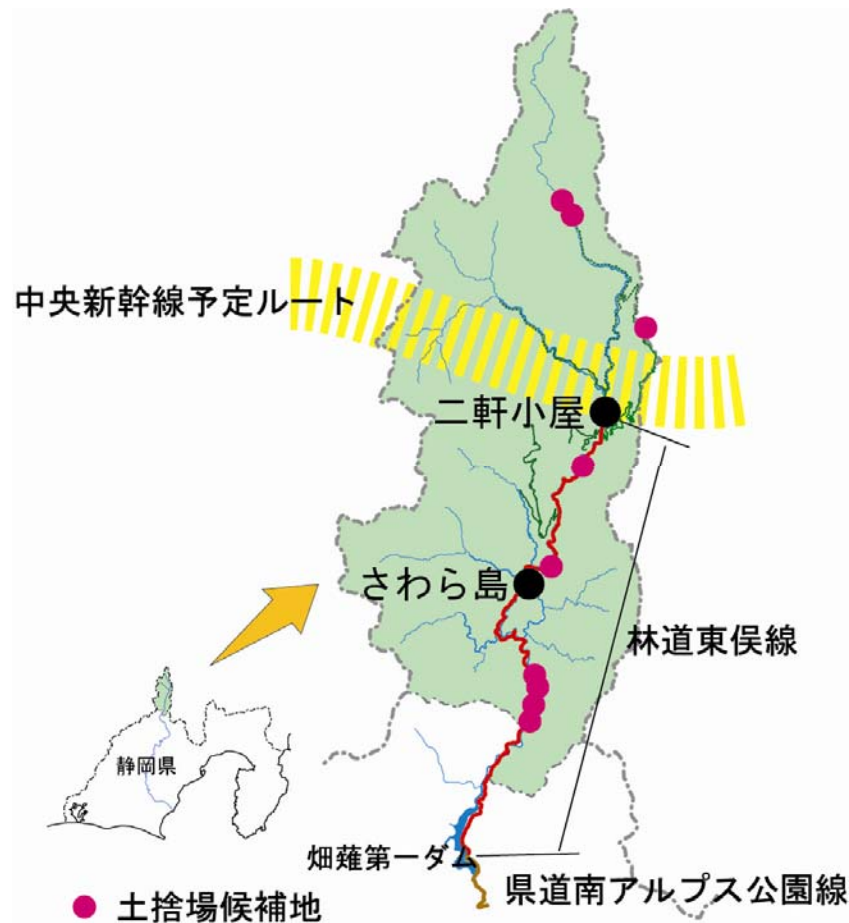
リニア中央新幹線工事

内容

- 井川社有林の地下を中央新幹線が通ることが決定
- 井川社有林内においても、2015年頃からトンネル工事が行われる見込み
- 子会社による工事用道路整備等の関連工事受注をめざす

進捗状況

- JR東海が環境アセスメントを実施中(延べ3,000泊の受入れを実施)



ボーリング地質調査

井川社有林で環境アセス開始

ボーリングによる地質調査

動植物・河川・大気の調査



井川社有林
東俣ボーリング風景

南アルプス採水事業について

内容

井川社有林にて採水を行う

進捗状況

採水事業の可能性をさぐるため、地質調査を実施

今後の展開

今後の調査項目(試掘調査)

- ・水源の季節変動(最低取水量)の確認
- ・水質の確認

調査後、2015年を目途に宅配水での事業化
ボトリング工場建設を検討

将来はペット
ボトルでの事
業化も検討

投資金額 約10億円



基盤強化の設備投資



新コーター設備の設置について

内容

- 新しい特殊機能紙生産のための設置
- 将来の新技术獲得のための研究開発投資でもある

特徴

原紙に対する塗料の染み込みを抑えることができる



原紙と塗工層の機能分離を行うことができる



塗工層を薄くし紙全体の低密度化、コストダウンの達成

※2013年11月頃、設備完成 投資額25億円

2014年3月以降、上市予定

アルコール系加工機の更なる活用

内容

- アルコール系加工機により、水系では膨潤してしまう素材の塗工が可能
- 高分子吸収体(SAP)と当社が有するナノセルローズ技術を融合して薄型の吸収体シートの製品化を行う
- 溶媒として使われるアルコールの回収率が高いため低コスト生産が可能
- 現在はテスト機であり、試験生産を行っている

今後の展開

試験生産の結果を受けて、テスト機の改造を行う

SAPのほか、同様に水系で膨張してしまうコラーゲン等の塗工も検討する

東海加工紙 新本社工場稼動開始



工場外観

11月一部稼動開始
来年3月以降、本格稼動

食品、建材、医療
向けの強化

新ラミネートマシン





お問い合わせ先:財務・IR室

〒104-0028

**東京都中央区八重洲2-4-1
常和八重洲ビル**

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がありますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。